

道内観光産業による経済効果について

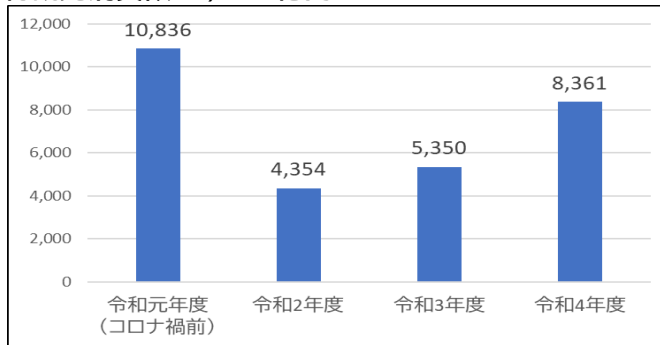
公益社団法人北海道観光振興機構(会長 小金澤 健司)では、令和4年度に実施した道内の観光産業経済効果調査(北海道来訪者満足度調査の中で実施)の推計結果をこのほど取りまとめましたので、お知らせします。

※なお現時点で令和4年度第4四半期(令和5年1月～令和5年3月)の観光入込客数が未確定であるため、本報告は【暫定版】とします(【確定版】は10月頃リリース予定)。

※また当年度は外国人観光客に対する調査は行っておりません。従って、本推計結果は国内観光客の観光消費額のみに基づくものであることにご留意ください。

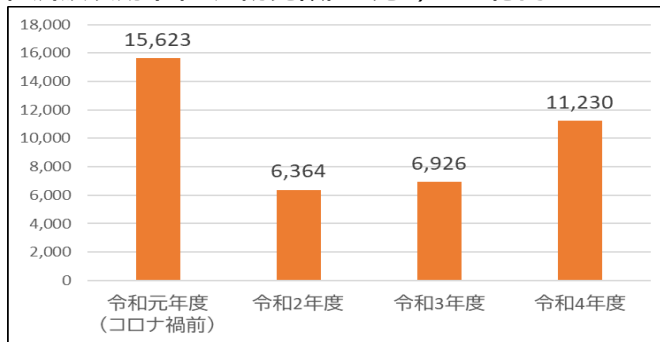
1. 概要

(1) 総観光消費額:8,361億円



前年度比
+3,010億円、156.3%
令和元年度比
77.2%

(2) 経済波及効果(生産誘発額):1兆1,230億円



前年度比
+4,304億円、162.1%
令和元年度比
71.9%

2. 新型コロナウイルス感染症による影響について

今回調査を実施した令和4年度は、前年度まで実施された新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置といった行動制限の発令がなく、加えて「どうみん割」や全国旅行支援「HOKKAIDO LOVE!割」等の施策効果や年度の後半は感染収束傾向や感染症法における「5類」への引き下げ移行表明等があり、観光客の旅行マインドを引き上げたと推測、観光入込客数は前年度対比737万人増加(120.6%)した。

それに伴い総観光消費額や経済波及効果は大幅に増加し、いずれもコロナ禍前の令和元年度の7割超(77%、72%)まで回復している。

3. まとめ(令和3年度との比較)

(1) 次頁以降記載しているとおり、一人当たりの消費額については道内客で増加したものの道外客については大きな違いはないことから、総観光消費額を3,010億円押し上げた主な要因は入込客数の増加によるところが大きい。

(2) 当年度実施しなかった外国人観光客に対する調査は令和5年度において実施予定であり、コロナ禍を経て変化したインバウンドの観光消費額について把握するとともに、道内観光の高付加価値化の効果検証を行うこととしたい。

※詳細については以下のとおりです。

<調査の概要(令和4年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査)>

- 目的:道内における観光による消費規模の実態及び観光消費がもたらす北海道経済への波及効果を分析し、観光産業の活性化及び(観光)振興を図るための基礎データとして活用する。
- 方法:道内主要観光地や交通拠点(103か所)のうちコロナ禍による集客困難地点等を除いた地点で面接聴取。コロナ対策のため QR コード読み取り・インターネット経由での回答も導入。
- サンプル数:有効回答数3,794件を取得(内訳:道内客=1,896、道外客=1,898)。
- 項目:プロフィール(居住地、年代、職業、年収)、旅行形態(日程、人数等)、旅行内容(消費額、観光ルート等)、期待度・満足度等。
- 時期:4期に分けて調査(1期:令和4年8月、2期:9月~10月、3期:11月~12月、4期:令和5年1月~2月)。

<<上記の内容で調査を実施した結果、下記の消費額を算出>>

消費額(一人当たり単価、内訳:交通費、宿泊費、飲食費、買物代、娯楽等サービス費、その他)

単位:円

年度	道内客		道外客		外国人
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
令和4年度	7,815	30,470	16,090	81,182	— ※1
令和3年度	6,085	27,826	16,044	81,574	—
増減	1,730	2,644	46	▲ 392	—
参考:令和元年度	8,120	32,594	70,733 ※2		138,778

注)本消費額単価はアンケートで回答を得た単純集計による消費単価ではなく、パッケージ料金に含まれる飲食、宿泊、交通費等の道内留保分も含めた「経済波及効果(推計)」に用いる最終投入単価の数値である。

※1)外国人観光客は調査未実施。

※2)令和元年度の道外客については日帰り・宿泊の区別をしていない。

① 総観光消費額

■総観光消費額		年度	道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他※1	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
a	年間観光客数 (R4年度は推計) 単位:万人	R4	2,965	848	90	3,903	13	406	419	— ※2	4,322
		R3	2,690	544	90	3,324	11	250	261	—	3,585
		増減	275	304	0	579	2	156	158	—	737
		R1	3,629	972	268	4,869	—	—	607	312	5,788
b	道内観光消費額単価 (推計用調整値) (1人) 単位:円	R4	7,815	30,470	15,853	—	16,090	81,182	—	— ※2	—
		R3	6,085	27,826	15,853	—	16,044	81,574	—	—	—
		増減	1,730	2,644	0	—	46	▲ 392	—	—	—
		R1	8,120	32,594	15,853	—	—	—	70,773	138,778	—
c	道内観光総消費額 (a×b) 単位:億円	R4	2,317	2,584	143	5,044	21	3,296	3,317	— ※2	8,361
		R3	1,637	1,514	143	3,293	18	2,039	2,057	—	5,350
		増減	680	1,070	0	1,750	3	1,257	1,260	—	3,010
		R1	2,947	3,168	425	6,540	—	—	4,296	4,323	15,159

四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

注)年間観光客数の算出方法について

令和4年度第3四半期迄(令和4年4~12月)は、北海道経済部観光局が令和5年6月迄に公表した「令和4年度観光入込客数調査」の観光入込客数を用いた。未公表の第4四半期(令和5年1月~令和5年3月)については、「輸送機関別来道者数調査」(当機構)、「宿泊旅行統計調査」(観光庁)、「V-RESAS~移動人口動向」(内閣府)等を参考に当機構が推計した。

※1)道内客「その他」~道民の道外への観光旅行等に伴う旅行消費。

※2)「観光入込客数調査」では、外国人入込客数について第2四半期に2万人、第3四半期に19万人を計上しているが、当年度の北海道来訪者満足度調査では観光消費額等を含め外国人観光客に対する調査は行っていないため、年間観光客数や総消費額については算出していない。

② 観光による経済波及効果

○総観光消費額8,361億円による経済波及効果の推計結果

※新規雇用者誘発数はあくまで総観光消費額に基づく効果の推計であり、必ずしも実際の雇用者数とは一致しないことについてご注意ください。

	経済波及効果(生産誘発額) 単位:億円	新規雇用者誘発数 単位:万人
令和4年度	11,230	10.5
令和3年度	6,926	6.0
増減	4,304	4.5
増減率(%)	62.1%	76.1%
参考:令和元年度	15,623 ※1	21 ※2

注)経済波及効果(生産誘発額)は、観光消費による直接効果6,409億円(道内客3,866億円、道外客2,543億円)と、第一次間接効果3,043億円(道内客1,836億円、道外客1,207億円)、第二次間接効果1,779億円(道内客1,073億円、道外客706億円)の合計額からなる(四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある)。

※1)令和元年度の経済波及効果(生産誘発額)は国内観光客の消費額による効果のみ記載。

※2)令和元年度の新規雇用者誘発数は外国人観光客の消費額による効果を含む。

※本調査結果は、令和5年3月にまとめた調査を令和4年度観光入込客数調査(令和5年6月北海道経済部観光局)等の公表値を参考に、6月上旬時点で再精査したものです。

※令和4年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査の全体版(令和5年3月時点)については、観光機構の公式サイト「北海道の観光統計データサイト」にも公表しています。また、「北海道の観光統計データサイト」では過去の同調査の調査データを表やグラフで公表しています。

<https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/> 「北海道来訪者満足度調査報告書」

<https://statistics.visit-hokkaido.jp/graph/#category--economic-spillover> 「経済波及効果の推計」

※道政記者クラブ、経済記者クラブに投げ込みしております。

<報道関係の皆様へのお願い>

標記内容について、貴媒体にてご掲載いただけましたら、お手数ですが、下記事業担当者もしくは広報用メールアドレスまで掲載紙面等を共有いただきますと幸いです。

<本件に対するお問い合わせ>

(公社)北海道観光振興機構 事業企画本部 マーケティング部
(堀、生川) n.hori@visithkd.or.jp
札幌市中央区北3条西7丁目1-1緑苑ビル1F
電話:(011)231-6736

<その他広報に関するお問い合わせ>

広報用メールアドレス press@visithkd.or.jp

